

のみ S D G s パートナー活動状況報告書

能美市長 殿

所在地 能美市岩内町 1 番地 1

企業・団体・個人名 加賀東芝エレクトロニクス株式会社

1. 活動内容及び効果

(1) 半導体出前授業の開催

(活動内容)

2023 年 11 月 22 日に能美市立福岡小学校 5 年生約 30 名、同年 12 月 8 日に能美市立栗生小学校 5 年生約 60 名を対象に出前授業を実施。

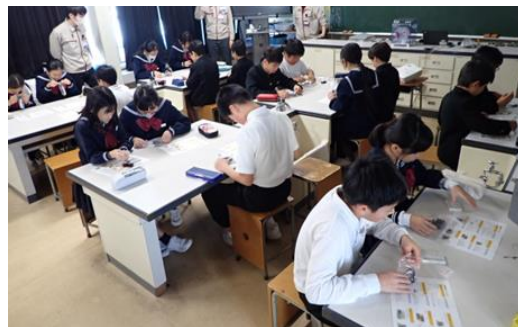
半導体の仕組みや歴史の学習、信号機の工作キットを使用した体験授業に加え、当社で製造しているパワー半導体がカーボンニュートラル社会の達成に欠かせないデバイスとして豊かな暮らしを支えていることを、能美市公式キャラクターの「ひぼ能ん・ゆず美ん」を使用して子どもたちにも分かりやすく紹介。

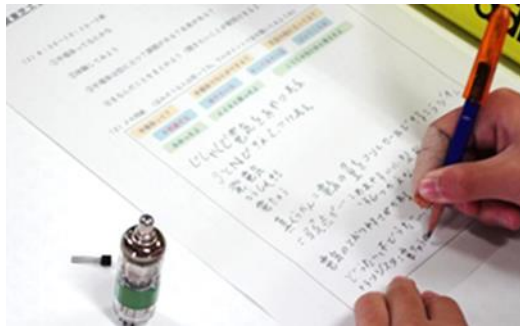
今年度は半導体製造・社会貢献について理解を深めてもらうべく、工場内のビデオ視聴に加え、授業の最後に子どもたちから当社の技術者へ質疑応答の時間を設けた。

(効果)

授業後のアンケートでは、半導体や当社への興味・関心について 80% 以上の肯定的な回答が得られた。

また、授業風景を社内 HP 及び、グループ会社を含む社内広報誌等にて配信し、社内環境意識向上に繋がった。





いしかわエコデザイン賞にて「パブリシティ賞」を受賞

(活動内容)

2023年10月10日、2022年度に実施した半導体出前授業の活動内容が“いしかわエコデザイン賞”における教育・社会活動領域において、「パブリシティ賞」を受賞。

(効果)

審査員の皆様方からは「このようなテーマによる環境教育は大変貴重であり、将来的に見て、環境技術の発展や多様性への芽生えなどにも繋がる重要な取り組みといえる」と、ご講評をいただき、社内への本活動の認知度向上並びに、国内グループ会社内において本活動の横展開が実施され、事業活動を通じた地域への貢献を含めた環境活動展開にも繋がった。



(2) 「加賀東芝の森」整備活動の実施(春・秋)

(活動内容)

当社では2013年度より辰口丘陵公園の市有地の一部(3.33ha)を借り受け「加賀東芝の森」として整備活動を継続している。2023年度の活動として5月13日、10月21日に当社従業員有志及び、のみ里山ファン倶楽部の皆様、石川県農林の皆様延べ23名での整備活動を実施。倒木の撤去や、遊歩道沿い・ホダ木置き場周辺の草刈りを実施。

*なお、コロナ禍につき、通常規模開催は見送り、有志のみで実施

(効果)

当活動範囲における整備の継続並びに、従業員と外部団体及び行政機関とのコミュニケーションの活性化や、環境意識向上に繋がった。



「石川の森整備活動 CO₂吸収量認証」制度の認証

(活動内容)

2024年3月1日に2023年度に実施した「加賀東芝の森」整備活動について「石川の森整備活動 CO₂吸収量認証」制度として認証。

(効果)

石川県が定める同認証制度活動への貢献並びに、本活動を通じてカーボンニュートラルに向けた社内環境意識向上へ繋がった。



(3) 各種環境関連月間行事の実施(6月、10月、2月)

(活動内容)

従業員の環境意識向上を目的に実施。実施内容は以下の通り。

- ECO活動コンテスト(6月:環境月間)
 - ⇒社内外問わず、ecoに関する活動を考えてもらい、作品を募集。
(例:マイボトルの使用や接触冷感布団へ変更し、就寝時のエアコン使用減など)
- CE(サーキュラーエコノミー)クイズ(10月:CE推進月間)
 - ⇒CEに関連するクイズを実施。全問正解者の中から景品を贈呈。
- リサイクルセンター巡回(10月:CE推進月間)
 - ⇒当社内のリサイクルセンターへ捨てられている廃棄物が分別されているか確認を実施。
- 産業廃棄物業者見学会&交流会(10月:CE推進月間)
 - ⇒当社が委託している産業廃棄物業者へ社内の環境関連業務従事者が訪問。回収された廃棄物の処分方法やリサイクル製品の見学・

情報交換会を実施。

- ▶ 省エネ標語コンクール(2月:省エネ月間)
⇒社内で省エネ標語を募集。応募作品から、優秀作品5作品を選出。当選者へは景品を贈呈。

(効果)

社内環境意識向上、廃棄物の分別意識向上などに繋がった。

2. 今後の活動予定

- ▶ 半導体出前授業：能美市内の小学5年生を対象とした活動を継続し、2024年度は当社の工場見学も兼ねた開催を目指す。
- ▶ 加賀東芝の森整備活動：活動継続し、2024年4月の活動はコロナ禍前の規模での開催を目指す。
- ▶ 社内環境関連行事:各種月間行事に合わせ、引き続き行事開催。
- ▶ その他：従業員の更なる環境意識向上の為、各種環境関連月間行事の充実や社内デジタルサイネージを活用した効果的な環境活動PRを検討する。

以上